北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 （整理番号）	Invasive mucinous adenocarcinoma (IMA)における Tumor cell in mucin の意義と臨床病理学的因子、予後との関連の解析 （B26-115）
当院の研究責任者 （所属・職位）	医学部呼吸器外科　教授　一瀬 淳二
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	該当者なし
本研究の概要・背景・目的	Invasive mucinous adenocarcinoma(浸潤性粘液性腺癌、IMA)は、豊富な粘液産生を伴う肺腺癌の独立した組織亜型です。病理学的ステージを決定するのに大切な IMA の腫瘍径は、規約により様々で、日本では、2018 年の日本肺癌取り扱い規約で腫瘍の周囲に広がる粘液を含めた範囲を腫瘍径としていましたが、2021 年に粘液を除いた範囲を腫瘍径とするようになりました。ここで我々が着目したのは腫瘍周囲に浮遊する腫瘍細胞（Tumor cells in mucin と定義しました）です。これらの腫瘍細胞は粘液に浮いて移動出来る可能性が高く、転移や再発に影響しているのではないかと考えています。今回、今までの手術を受けられた患者さんの病理のスライドガラスを全て再評価し、粘液に浮遊する細胞の意義を調査し、適切な病理腫瘍径はなにかを検討したいと考えています。
調査データ 該当期間	2008 年 1 月 1 日～2026 年 08 月 31 日
対象となる患者さん	2010 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日に当院当科に外科的手術を受け、IMA と診断された患者さん
研究の方法 （使用する試料等）	利用する情報 2008 年 1 月 1 日から 2026 年 8 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、上記期間に該当する患者さんの病理標本(スライドガラス)を利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日：　研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究の遂行のための費用は、北里大学医学部呼吸器外科学研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としま

	せんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学医学部呼吸器外科呼吸器外科　助教 担　当　者：近藤　泰人（コンドウ　ヤスト） 電　　話：042-778-8111
備　考	